



世界の貧困問題について



この課題に関わるSDGsの番号

1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



テーマ設定の理由

貧困で日々苦しんでいる人々の生活を理解すると共に、それを踏まえて自分に出来ることを考えたいと思ったから。



現状

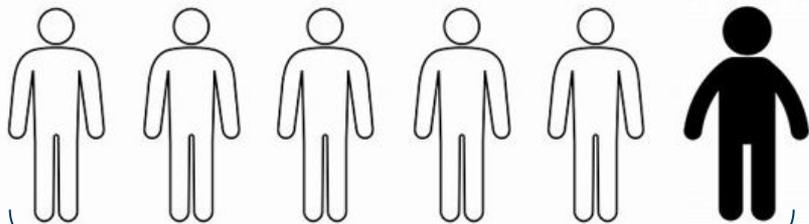
世界では、6人に1人(3億5600万人)の子どもたちが「**極度に貧しい**」暮らしをしています。



- ・**必要最低限の食事が摂れない...**
- ・教育や就職が出来ない...
- ・病院に行けない... など

1日**約150円以下**で
生活せざるを得ない

※先進国の一人あたりの生活費は
約5000円(衣食住含む)



6人に1人

問題点

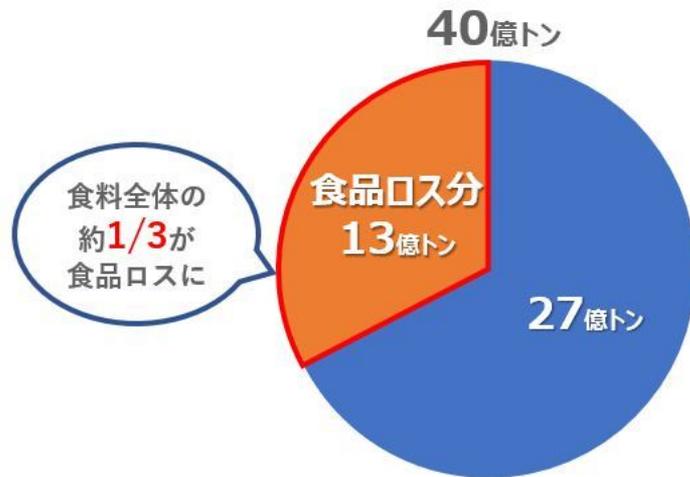
途上国では食料がない……

But

先進国では毎年多くの食料が作られるが、その多くが廃棄されてしまっている→食品ロス

先進国の
需要と供給の
バランスが
崩れている！

図1 世界で生産されている食料総量



※JAICAFの世界の食料ロスと食料廃棄（2010年8月～2011年1月調査）よりLLLが作成

課題



- ・食品ロスを減らし、貧困で困っている人々を 減らす。
- ・途上国の人々も十分な食料を得られるように する。

解決策



- ・ドギーバッグ(食べ残した食品を持ち帰るための箱)の文化を広めて、なるべく残食を出さない。
- ・お店での商品が廃棄されてしまう前に、消味期限が近いものから価格を抑えて優先的に売り出す。
- ・消費者は必要な分の商品だけを購入する。



10代からの提言

地球上には、住んでいる人類のすべてが十分に食べていけるほどの食料があるとされています。

貧困で飢餓に陥ってしまっている人々を少しでも救えるように、「自分は困っていないから...」と考えるのではなく、自分から貧困問題についてできることを探していこう！

感想

- ・私達には身近でない貧困問題でも、世界を見渡してみると、苦しみながら生活している人々が多くいると知って驚いた。
- ・この問題を他人事とせずに、好き嫌いをせず食べたり、商品の購入時に本当に必要なのか考えたり、自分にできる小さなことから始めていきたいと思った。
- ・今自分が困難なく暮らせていることに改めて感謝しなければいけないと思った。